

別紙6

食材費にかかる消費者物価指数（CPI）を基準とした精算方法について

昨今の物価高により食材費が高騰しており、今後の推移が予測できないため、消費者物価指数（以下、CPI とする）を基準として材料費の増減に対応することとし、以下により精算ルールを定める

2020 年基準消費者物価指数－中分類－食料に記載される指数及び金額の算出方法

1 指数の算出

毎月1日、最新の2020年基準消費者物価指数を参照し、以下の表のとおり指数を算出する。

中分類－食料	左記分類中に占める割合 (①)	指数 (②)	算出指数
穀類	12.962%	2020 年基準消費者物価指数の中分類の同項目から転記	項目ごとに、 ①×②
魚介類	12.053%		
肉類	15.082%		
乳卵類	7.632%		
野菜・海藻	17.262%		
果物	6.360%		
油脂・調味料	7.329%		
調理食品	21.320%		
合計	100%		③

③＝①×②の合計

2 金額の算出

上表で算出された③を以下の計算式に当てはめて算出した金額を物価調整費とする。

$(\text{③} / 100 - 1) \times (\text{毎月の患者給食業務委託契約の単価契約分の実績額})$

(ただし、小数点以下切り捨て)